



ボイスコントロールとは

声で本機を操作することをいいます。

- 以下のような場合、認識できません。
 - ・発声が遅い・不明瞭・大きすぎる(小さすぎる)
 - ・「ピッ」音の前に発声した
 - ・発声単語の間隔が長い
- 音が似ている単語は、間違っ て認識することがあります。(例:滋賀県と千葉県など)

お知らせ

- モニターを立ち上げた状態でないと使用できません。

音声コマンドの認識率をよくするために

- コマンドは、はっきりと発声してください。
- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。(同乗者の声による誤認識を防ぐため)
- 「ピッ」音のあと、早めに発声してください。(しばらく(約6秒)発声がないときは、音声認識を中断しますが、再度「発話」を押すと続きから発声できます。)

コマンドについて

ボイスコントロールで本機が認識できる言葉をコマンドといいます。(P.162、163)

■ マルチコマンド

コマンドには言い換えができるものがあります。
例: 100mスケール(ひやくめーとるすけーる)
→ひやくめーとる
オーディオ(おーでいお)→おーでいおおん
トラックアップ(とらっくあっぷ)→つぎのきょく

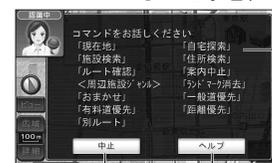
■ ジャンル/施設名などは

正式名称以外の通称で言い換えられる施設もあります。
例: 東京ドーム→ビッグエッグ
コンビニエンスストア→コンビニ

基本操作

音声コマンドを入力するには、発声する前に「発話」を押してください。

- 1 発話 押す
(リモコン→「発話」)
- 2 音声ガイドの後の「ピッ」という音に続けて
コマンドを発声する



コマンド一覧
(音声認識
モードが
「標準」時のみ)

操作がわからないとき「ヘルプ」
(または、「発話」▶「ヘルプ」発声)
● ヘルプ画面を表示(下記)

ボイスコントロールを中止するとき
「中止」(リモコン→「ビュー」を1秒以上押す)
「発話」を1秒以上押すか、音声で「中止」と発声しても中止できます。

- 3 音声ガイドを聞いて、
認識したコマンドを確認する

■ 間違ったコマンドを認識したとき

音声ガイド中に「発話」を押し、言い直す

- 4 続いて、
音声ガイドに従って
繰り返す

「発話」▶音声コマンド

音声認識モードを切り換える

本機が認識できるコマンドの項目数を変更できます。

メニュー画面「設定」から(P.29)



- 1 各種設定
- 2 システム設定
を選ぶ
- 3 標準 / 拡張
を選び、「完了」

- 標準 ナビゲーションの基本操作のコマンドのみ認識(お買い上げ時の設定)
オーディオのコマンドは認識されません。
- 拡張 すべてのコマンドを認識
- 標準 / 拡張で認識できるコマンドについては、ジャンル一覧表(P.162、163)

通話先の音声認識を設定する

ハンズフリー画面から(P.109)

- 1 電話帳
- 2 通話先を選ぶ
- 3 詳細
を選ぶ



- 4 音声認識
- 5 音声認識で電話をかけたい電話番号を選ぶ
- 6 完了
● 音声認識の読みを修正するとき
「認識読み修正」▶
読みを入力して
「完了」▶「完了」
音声でのハンズフリー
通話のしかたは
(P.120)

ヘルプ画面について

認識できる音声コマンドやボイスコントロールの操作方法を確認することができます。

- ヘルプ画面には、以下の2種類があります。
 - ・音声認識コマンド一覧画面
認識できるコマンドの一覧を表示。
 - ・音声認識操作ヘルプ画面
音声認識の操作方法を表示。
- ヘルプ画面は、声では操作できません。
- ヘルプ機能を使うと、音声認識は中止されます。
- 操作のしかた
ヘルプ画面の種類の切り換え
(リモコン→「ビュー」)
表示項目を切り換え
ページを切り換え
(例: 音声認識コマンド一覧表)

